



双葉の園ひがしやま保育園 園だより



令和 6 年 9 月 第 54 号

ようやく根を張り茂った庭の草木に、バッタやトンボがやってきて子ども達を楽しませてくれています。

幼児クラスの子ども達は、生き物に興味津々で頭を突き合わせ図鑑に見入っていたり、下の廊下では、可愛らしい足音をたてて一人でペタペタと駆けていた子ども達が、立ち止まって手を差し出し、お友だちと手をつないで庭やホールに向かったりしています。

あちらこちらで見て取れる成長した微笑ましい姿を、各クラスからのおたより“夏の号”でもお届けしておりますので、話題にして頂けましたら幸いに存じます。

今月は、西大記理事長からのメッセージをお届けいたします。

園長 越谷 信子

双葉の園は今年の 9 月 10 日で創立 93 周年になります。

その間には第 2 次世界大戦で園舎が消失。戦後は保育園になり、保育制度や環境が変わるたびに新たな学びがあり、現在は双葉の園3園がそれぞれの環境のもと保育に当たっています。

日本の昔話から

むかしむかしあるところに古いお堂がありました。

お地蔵さまが祀られていて、近所の子たちはその木造のお地蔵さまを泥の中に浮かばせたり、けって遊んだりしていました。ある時、床屋さんが通りかかって「こら！お前たちお地蔵さまに何をするんじゃ！」と叱りました。翌日から床屋さんは熱が出て起き上がれなくなっていました。次の日の夜の事です。床屋さんが熱で苦しんでいると、泥にまみれたお地蔵さまがやってきて『せっかく子どもたちと楽しく遊んでいたのに、邪魔をしおって！』とたいそうお怒りでした。どういう結末だったかははっきりとは覚えていませんが、床屋さんが改心して病気が治り、それ以来子どもたちはお地蔵さまと遊ぶことができました。というような話だったと思います。

この話は、昔の日本では子どもを大事にしていたと同時に子どもは天からの預かりものという考えがあったことを示しています。

今年は子どもの権利条約採択 35 年に当たります。日本の昔話の様であったならば心配しなくてもいいような事件が毎日のように聞かれます。そして、まじめに子どもの権利を考えれば、大変難しい問題もあります。

子どもには、意見表明権がありますから、「お昼寝をしたくない」「もっと遊びたい」「あの子のおもちゃが欲しい」・・・いろいろと言う事は出来ます。

それを聞いて、私たちは、お昼寝をしたほうが良い理由、今はお食事の時間であること、他の子が遊んでいるモノをいきなり取ってはなぜいけないのかなどを、逐一説明します。

なかなか納得してもらえませんが、お互いに話し合い、どうしたら良いのかを見つけていかなければなりません。・・・子どもの権利を守りつつ、保育をするのはなかなか大変です。

お地蔵さま！お願いします！

これからも皆様の暖かいまなざしとご支援をお願いいたします。

理事長 西 大記

な っ の お も い で

水遊びじまいの日にすいか割りをしました。

みんなでホールに集い、てめぐいで目隠しをして、棒をもって

「まーえ!まーえ!そこー!!」「おしーい!!」

大歓声の中、にぎやかに保育園の夏を締めくくりました。

終わった後は調理さんが切ってくれたすいかを頂きました。

種を飲むとおへそから芽が出てくるかも・・・

なんて話が聞こえてきたり 🍉 不思議なこともあるんですね♪



今月のうた

♪でた でた つきが♪

でたでた つきが まるいまるい まんまるい
ぼんのような つきが

かくれた くもに くろいくろい まっくろい
すみのような くもに

またでた つきが
まるいまるい まんまるい
ぼんのような つきが

9 月の予定

2日(月) 引き取り訓練

10日(火) 創立記念日 93 周年

11日(水) 5 歳児ひかり組 制作教室

14日(土) 創立記念講演会 澁井展子先生

17日(火) 中秋の名月

年長おだんごづくり

18日(水) 4 歳児ほし組 制作教室

27日(金) 年長交流会

※バルシューレの日 10日(火) 24日(火)

HAPPY BIRTHDAY!

非公開